

南砺市城端伝統芸能会館

「じょうはな座」

定期公演

2019年

伝統芸能を身近に体感

登録名称「城端神明宮祭の曳山行事」
ユネスコ無形文化遺産

国重要無形民俗文化財

曳山祭「庵唄」とむぎや踊り



You Tubeにて
動画公開中！



むぎや祭



曳山祭

第2・第4土曜日を中心に開催

開催日は裏面をご覧ください。

(12月～3月までの冬季期間中は開催しておりません)

◆開 演／午後3時(開場は午後2時30分)

◆鑑賞料／※中学生以下無料

定期公演のみ	お1人	1,000円
	団体(15名以上)	800円

曳山会館 入館券 付き	お1人	1,300円
	高校・大学生	1,000円
	団体(15名以上)	1,000円

◆公演時間／約1時間(踊り体験含む)

お問い合わせ

南砺市城端伝統芸能会館

じょうはな座

〒939-1865 富山県南砺市城端1046

TEL 0763-62-5050

休館日 毎週火曜日、年末年始

HP:URL <http://johanaza.jp>

E-mail: info@johanaza.jp

特別公演 承ります

お客様の希望日時で庵唄かむぎや踊りの
どちらかの公演を行います。

詳細はお問い合わせください。



城端に伝わる伝統芸能—

約300年の歴史を誇る城端曳山祭の「庵唄」と、落人伝説の悲哀を今に唄う城端むぎや祭の「むぎや踊り」をここじょうはな座で心ゆくまでご堪能下さい。

◆庵唄公演では、三味線・篠笛・太鼓の情緒豊かで典雅な音色のお囃子に始まり、今に伝わる数十曲もの庵唄の中から選りすぐりの唄をお楽しみ頂きます。背景に映された曳山が幻想的な雰囲気醸し出し、華麗ながらも荘厳な城端曳山祭の気分浸って頂けます。また、庵唄にのせてしっとりとうる日本舞踊との共演も是非お楽しみ下さい。

◆むぎや公演では、むぎや節はもちろん古代神やこきりこ節といった富山県を代表する民謡を中心に、往時のままの衣装を纏い手には菅笠といった姿で、素朴ながらもどこかもの哀しい心情を表した歌詞と調べにのせ踊りを披露いたします。また公演中には、むぎや踊りの魅力をより感じて頂ける「踊り体験」も行っております。出演者とお客様が一体となって踊る「むぎや」を存分にお楽しみ下さい。

開催日	2019年 出演団体	
	庵 唄	むぎや・体験講習
4月13日(土)	城端庵唄保存会・菁佳会 [踊入り]	花 筏
5月25日(土)	東 上 町	東 新 田 町
6月 8 日(土)	大 工 町	野 下 町
6月22日(土)	西 上 町	西 下 町
7月13日(土)	東 下 町	花 筏
7月27日(土)	出 丸 町	栄 町
8月10日(土)	西 下 町	西 上 町
9月28日(土)	東 上 町	四 葉 会
10月12日(土)	大 工 町	西 新 田 町
10月26日(土)	東 下 町	花 筏
11月 9 日(土)	城端庵唄保存会・菁佳会 [踊入り]	越中城端麦屋節保存会



ユネスコ無形文化遺産 登録名称「城端神明宮祭の曳山行事」

国重要無形
民俗文化財

曳山祭

2019年5月4日(祝・土)【宵祭】・5日(祝・日)【祭礼日】開催

約300年の伝統を誇る、絢爛豪華で優雅なお祭—

京都祇園の一力茶屋や江戸吉原の料亭に似せて造られた精巧な「庵屋台」と、御神像を安置し装飾には繊細な彫りと贅沢に城端塗りが施された、「曳山」が町を練り歩きます。豪華な「曳山」を先導する「庵屋台」の中では、三味線・篠笛・太鼓の優雅な音色にのせて「江戸端唄」を源流とした城端独自の「庵唄」が唄われます。絢爛豪華な曳山を目で楽しみ、粋な庵唄に耳を傾ける。まるで料亭のお座敷にいるかのように感じる粋なお祭です。江戸時代からの祭礼形式を今に残し守り続けていることから、平成14年には国の重要無形民俗文化財に指定、さらに平成28年にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。



むぎや祭

2019年9月14日(土)・15日(日)開催

清々しい秋風が吹き始める、9月—。
城端は心に染みる「むぎや」の唄と踊りに酔いしれる。

今から約800年前、権勢と栄華を極めた平家一門は、屋島・壇の浦の合戦に敗れてついに滅亡。日本各所へ落ちのびた平家一門の中に、人里離れた越中五箇山を安住の地とした人々がいました。慣れない山仕事や農作業の合間に、落人たちが都を偲んで唄い踊ったのが「むぎや節」の始まりだと言われています。哀調を帯びた旋律にのせて描かれる落人たちの切なる心。凛とした気概を映し出す風格ある舞い。その独特の魅力は富山県を代表するお祭として、人々の心を魅了し続けています。

